



地球にやさしい暮らし方をはじめのために

クルクルセンターは平成16年に開館した、ごみ減量とリサイクル、環境問題に関係した情報の展示・発信を行っている施設です。

展示コーナーには、ごみがどのように処理されているか、リサイクルされているかを目で見てわかるように過程別に展示しています。またてんぷら油など家庭から出る廃食油を再利用したバイオディーゼル燃料(BDF)の精製施設を見学することもできます。

施設の屋根には太陽光発電システムを設置していて、太陽光で得た電力を施設で使用しています。BDFと太陽光発電は地球温暖化の防止に貢献しています。

◆ 施設のおすすめ

クルクルセンターでは廃食油でキャンドルの作成や牛乳パックからはがきを作り他のにも体験型の講座を毎月約3回行っています。また年1回開催のリサイクルフェアでは、市民による100以上の団体が出展するフリーマーケットや精製施設で処理したバイオディーゼル燃料(BDF)で動くカートの試乗体験、企業によるリサイクル関連の教室や体験などを行っています。

他にも倉敷市在住・在勤の方に限られますが古着・古本の無償提供、机や棚、椅子といった家具の抽選販売も行っています。

◆ 子どもたちへのメッセージ

身近な環境問題の一つでもあるごみとその処理について、展示を見て、話を聞いて、自分の手で体験して知ってもらうことで、普段の生活の中でできるリユース(再利用)やリサイクル(再生利用)などの環境活動を少しずつ小さなことでも実践して地球にやさしい暮らし方をするための第一歩になればうれしく思います。



バイオディーゼル燃料で動くカート



電池のリサイクル過程



缶・ペットボトルの圧縮



家具の再利用



クイズゲーム



ワークショップ作品



バイオディーゼル燃料精製施設



精製過程